

希望を胸に 入学・入園

こども園入園式



入園式に臨む新入園児(さくらこども園)

ひまわりこども園とさくらこども園の入園式は4月8日に行われました。

乳児部と幼児部合わせて27人が入園したさくらこども園の入園式では、新入園児たちが保護者らに拍手で迎えられながら入場。緊張した表情の園児たちでしたが、自分の名前が呼ばれると大きな声で元気よく返事をしていました。

古川いち子園長は「こども園では、お友だちみんなとたくさん遊んでください」と式辞を述べました。

町内小学校に85人が入学

町内6小学校の入学式は4月6日に行われ、1年生85人が元気に小学校生活をスタートさせました。

このうち長瀬小学校では11人が入学。呼名の後、笹島明美校長が「1年生の皆さん、一緒にがんばりましょう」と式辞を述べました。在校生を代表して6年生の五十嵐愛奈さんが「運動会や学習発表会、スキー教室など楽しい行事がたくさんあります。私たちが在校生と一緒に楽しい学校生活を送っていきましょう」と歓迎の言葉を述べました。



入学式に元気な声で返事する1年生(長瀬小学校)

猪苗代高校入学式

猪苗代高校の入学式は4月11日に行われ、普通科に新入生21人が入学しました。

式では、渡部朋史校長が全員の入学を許可し、「素晴らしい校訓を意識し、志を持って充実した学校生活を送ってほしい」と式辞。新入生を代表して、佐藤宏季さんが「一生懸命に学業やボランティア活動、地域探求学習に取り組みます。互いに切磋琢磨し合いながら、将来を見据えた高校生活を送っていきます」と誓いの言葉を述べました。



入学式に出席する猪苗代高校の生徒

新たな一歩を踏み出す

猪苗代、東、吾妻の3校が統合してできた猪苗代中学校の初めての入学式は4月6日に行われ、新入生109人が志を胸に新たな一歩を踏み出しました。

横山泰久校長が「野口英世博士の遺訓である『目的、正直、忍耐』を生かし、自ら考え実践力をつけ、人間性豊かに育ててほしい」と式辞。新入生を代表して野口あすみさんが「新しい校舎で新しい友達とともに新しい猪苗代中学校の伝統を作り上げていきます」と誓いの言葉を述べました。



誓いの言葉を述べる野口さん



館内を見学する関係者

町歴史民俗資料館が開館

町の新たな文化施設が誕生

旧猪苗代保育所が町歴史民俗資料館として生まれ変わり、4月8日に開館しました。開館に先立ち4月7日に町図書歴史情報館(和みいな)で開館式が行われ、主催者を代表して前後公町長があいさつをしました。その後、出席者は町歴史民俗資料館に移動し館内を見学しました。同館には、日常の暮らしや日々の労働など5つのテーマごとに展示室が設けられ、石臼や負い籠など約1,700点が展示されています。

地域を守る消防団員に辞令

町消防団辞令交付式

町消防団辞令交付式は4月3日、町役場で行われ、106人の消防団員に辞令が交付されました。

新入団員を代表して第4分団の安部源弥さんが「良心に従って消防の義務を遂行します」と宣誓し、六角武志団長から消防団の法被を受け取りました。

その後、前後公町長と六角団長が、有事の際には十分に力を発揮されるよう激励と期待を込めあいさつをしました。



六角団長から法被を受ける安部源弥さん(左)



湖岸に打ち上げられたごみを拾う清野さん家族

美しい猪苗代湖を次世代に

猪苗代湖クリーンアクション2022

「猪苗代湖クリーンアクション2022」は4月23日、三城潟などで行われ、町内外から集まったボランティア約260人が清掃活動に取り組みました。参加者は、三城潟、サイクリングロード沿い、小黒川河口付近、松橋浜に分かれ、湖岸に打ち上げられたごみやヒシの実などを丁寧に拾い集めました。大玉村から参加した清野明美さんは「新聞などを見て、前からこの活動に興味を持っていたので、今回子供たち3人と参加しました」と話しました。

有害鳥獣による被害軽減へ

町有害鳥獣駆除員へ委嘱状を交付

町有害鳥獣駆除員および町鳥獣被害対策実施隊員委嘱状交付式は4月6日、町役場で行われ、前後公町長が佐藤久人さんら16人に委嘱状を手渡しました。式では、前後町長が「緊急の出勤やわなの見回り、早朝からの活動など本人はもとより家族の皆さんのご協力に感謝します。今後は特に、イノシシやニホンジカによる被害拡大が懸念されます。事故やけがに注意して活動してください」とあいさつを述べました。



前後町長から委嘱状を受ける佐藤久人さん(左)